

事例 31 庁舎整備における木材利用

(中部森林管理局 森林技術・支援センター)



- 岐阜県下呂市（げろし） 森林技術・支援センター
- （左）新庁舎の外観（令和4年9月）
- （右）玄関ホールの様子（令和4年9月）

林野庁は、公共建築物等での木材利用の促進を図っており、自ら発注する庁舎等の整備に当たっても、CLT等の木材の活用を進めています。

中部森林管理局では、岐阜県下呂市にある森林技術・支援センター庁舎の建替えにあたって、スギ材を使用したCLT等の木材を積極的に活用し、特に玄関ホールは、木材が来庁者の目に触れるようCLT等を現し^{あらわ}*で活用しました。

また、暖房設備には、化石燃料の使用抑制と森林資源の有効活用のため、ペレット（木質バイオマス燃料）ボイラーを導入しました。さらに床材には、旧庁舎で使用していたイスノキの床材を再利用しました。

来庁者からは、「木の温もりが感じられる」、「玄関ホールでCLTの活用状況が良く見える」等の声が寄せられています。

今後も庁舎整備における積極的な木材利用に取り組んでいきます。

* 柱や梁等の木材を見せるように仕上げること